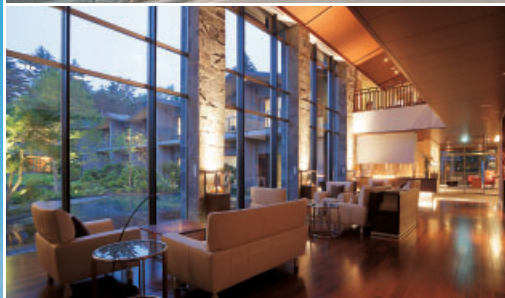
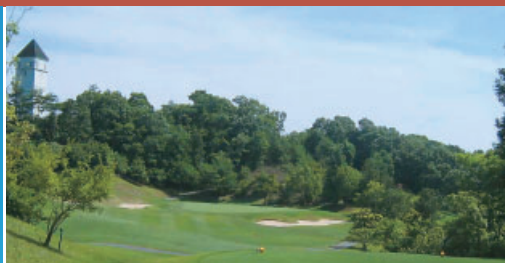


第76期中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日



東急不動産



代表取締役社長 植木正威

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当中間期の報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

当期は、持続的な利益成長により企業価値の向上を図る成長戦略として平成17年4月よりスタートした中期経営計画「Grow Value 2007」の最終年度にあたります。本計画については、良好な事業環境に恵まれたこともあり、お蔭様で、計画当初の目標値を既に達成しており、加えて営業利益で3期連続、経常利益では6期連続で最高益を更新し、当中間期の業績についても期初の予想を大きく上回るなど順調に推移しております。

今後、一層の事業基盤の拡充と収益力の強化を図りながら、計画最終年度となる当期についても最高益を更新し、来期からスタートさせる新中期経営計画に弾みをつけてまいりたいと考えています。

国内における昨今の経済情勢は、企業業績の回復に加えて、海外からの豊富な資金流入などもあり、順調に成長軌道を歩む一方、経済の急速なグローバル化の進展により、サブプライム問題といった他国の経済動向にもこれまで以上に影響を受け易くなり、また、不動産市場でも地価や原材料費の急激な高騰に伴う分譲住宅の価格上昇により、消費者の商品に対する選別の目がこれまで以上に厳しくなるなど、先行きに対する不透明感も出始めています。

こうしたなか当社グループでは、事業環境の変化を敏感に察知し、その変化に俊敏かつ適確に対応しながら事業を推進するとともに、社会的要請としてのCSR経営についてもコンプライアンス体制や環境への取り組みなど、そのレベルアップを図りながら企業価値の向上に努めてまいります。

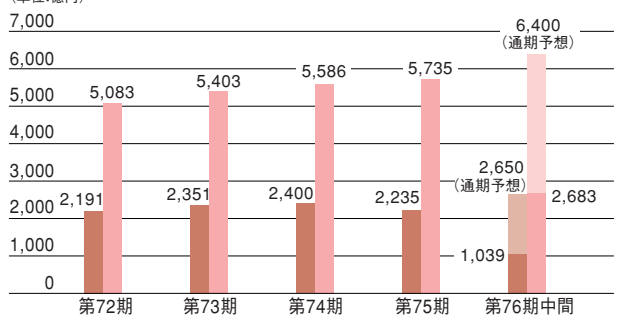
株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

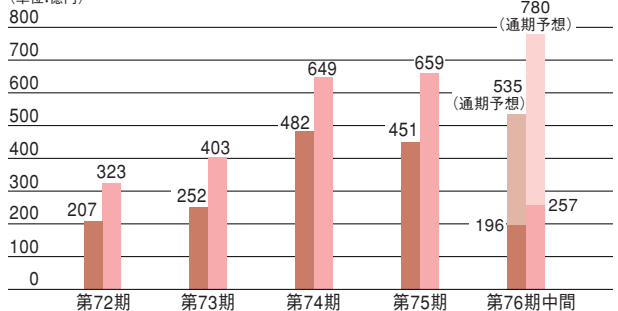
売上高

(単位:億円)



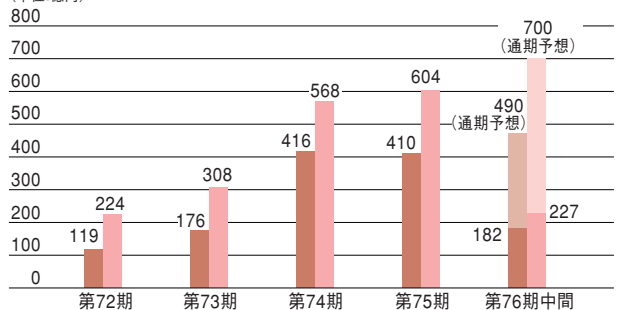
営業利益

(単位:億円)



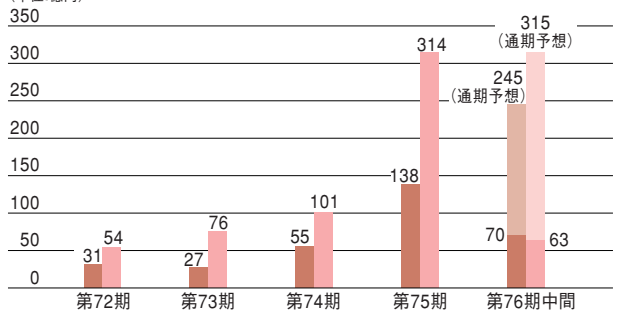
経常利益

(単位:億円)



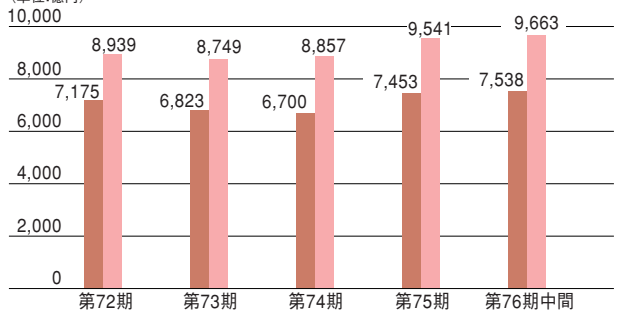
中間(当期)純利益

(単位:億円)



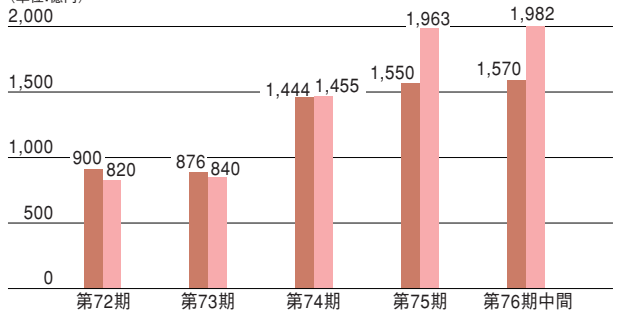
総資産

(単位:億円)



純資産

(単位:億円)



財務ハイライトは億円未満を四捨五入して表記しています。

賃貸業

オフィスビル開発と商業施設開発の両輪で不動産賃貸業の拡大を推進

国内有数の商業集積地
銀座地区において大型投資

平成19年10月、中央区銀座五丁目の数寄屋橋交差点角に立地する「銀座東芝ビル」を、開発型証券化手法を用い当社が組成したSPCを通じて、取得いたしました。銀座地区に相応しい大型複合ビルへの建替えを前提に、今後関係各所との協議を行い早期の事業化を目指してまいります。



銀座東芝ビル
所在：東京都中央区銀座五丁目 延床面積：約40,400m²

戸塚駅西口再開発事業で
特定建築者に決定

東急不動産と東急コミュニティーの両社は、平成19年5月、横浜市施行の「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業」において、施行者である横浜市に代わり同再開発区域内の再開発ビルの建設を行い、ビルの一部を取得して運営する「特定建築者」に決定いたしました。計画中の複合商業ビルは、戸塚駅前をより魅力的な街とするべく、平成22年4月の開業を目指しています。

「汐留ビルディング」竣工
汐留エリアの南の玄関口

汐留ビルディング
所在：東京都港区海岸一丁目 延床面積：約118,500m²
竣工：平成19年12月予定

汐留地区最後の大規模区画「汐留シオサイトI-2街区」において開発を進めておりました大型複合ビルが、平成19年12月に竣工を迎えます。ビル名称は「汐留ビルディング」、1・2階の商業ゾーンの名称を「HAMASITE Gurume (ハマサイト・グルメ)」とし、JR浜松町駅前という汐留エリアの南の玄関口として、象徴的かつ風格のある都市景観を形成します。



戸塚駅西口再開発事業
所在：横浜市戸塚区 延床面積：約70,600m²
開業：平成22年4月予定

|| 恵比寿駅前にて、 都市型商業施設の開発に着手

JR恵比寿駅前という希少性の高い立地にて、平成19年8月、新たな商業施設の開発に着手しました。恵比寿に集まる「高い感性の大人の女性」を中心とした「都市生活者」をターゲットに、立地の良さを活かした商業施設の計画を進めています。

(仮称) 恵比寿1丁目プロジェクト

所在：東京都渋谷区恵比寿一丁目 延床面積：約70,600m²

開業：平成20年9月予定



分譲業

ひとつ先の品質を目指し—東急不動産の住まい「ブランズ」シリーズ

|| ブランズシティ田園ヒルズ

「ブランズシティ田園ヒルズ」では、分譲マンションで初めて、ICカード乗車券「PASMO（パスモ）」を利用した子供見守りサービス機能を提供します。「PASMOカードリーダー」に触れると、自動通過情報メール配信システムが稼働し、登録された携帯電話などにお知らせが届くシステムです。



ブランズシティ田園ヒルズ

所在：東京都町田市小川 総戸数：200戸

竣工：平成20年8月予定

|| ブランズタワー南千住



東京23区最大級の再開発エリア南千住駅前に、新たなランドマークとして開発中の超高層大規模マンション「ブランズタワー南千住」では、「設計住宅性能評価」取得や「マンション環境性能表示」のオール三ツ星獲得等、ひとつ先の品質を目指しました。平成20年2月より販売開始を予定しています。

ブランズタワー南千住

所在：東京都荒川区南千住七丁目 住宅総戸数：215戸内、分譲戸数180戸

竣工：平成22年1月予定

リゾート業

「(仮称) ちばリサーチパーク
ゴルフ場計画」始動

千葉県佐倉市「ちばリサーチパーク」内に、三菱地所(株)と共同で新しいゴルフ場の開発をスタートさせました。都心部からの交通利便性に優れており、トーナメントの開催要件を満たす本格的なチャンピオンコースとして建設中です。平成20年春頃より会員権の募集開始を始め、開業は同年秋頃の予定です。

小売業

東急ハンズ／ライフスタイル提案型の
新しいハンズが銀座にオープン

「銀座マロニエ通り」の入口に位置する新しい商業施設「マロニエゲート」に、平成19年9月「東急ハンズ銀座店」がオープンしました。これまで「モノ」にこだわり続けてきた東急ハンズのコンセプトに「自分環境・暮らし環境・ビジネス環境のクオリティアップ」をキーワードとして加え、更に銀座らしい感性を備えたライフスタイル提案型の「新しいハンズ」です。この他、同年8月に千葉県内初出店の「柏店」がオープンし、同年10月には「町田店」が移転・リニューアルオープンしました。



東急ハンズ銀座店
所在：東京都中央区銀座二丁目
店舗面積：約4,000m²

5カ所目のシニア住宅、
横浜市初の「終身建物賃貸借事業」認可取得

平成15年にスタートさせたシニア住宅事業は、現在までに横浜市と東京都杉並区において4カ所を展開しております。5カ所目となる新規



施設「グランクレール美しが丘」が、横浜市で初となる「終身建物賃貸借事業」の認可を取得いたしました。

グランクレール美しが丘
所在：横浜市青葉区美しが丘四丁目
総戸数：51戸

請負工事業

東急アメニックス・東急ホーム／
情報発信型総合ショールームを共同開設

平成19年10月、住まいの新築からリフォーム、インテリア、維持管理に至るまで幅広く対応する総合ショールーム「有明ショーサイト」を共同で開設。未来のストック型社会を見据え、多様な視点・手法から住まいのシーンを提案・展示しています。

また両社は平成19年7月、TDY3社(TOTO(株)、大建工業(株)、YKK AP(株))との提携による、5社の技術・住宅部材を組み合わせた空間創造ブランド「TODAY」を発表しました。現在、同ブランドによる第1号商品として、東急アメニックスが定価制全改装商品「TODAY暮らしアップ」を販売しています。



有明ショーサイト
所在：東京都江東区有明三丁目

事業の概況

REVIEW OF OPERATIONS

当中間期の業績は売上高2,683億円（対前中間期+7.4%）、営業利益257億円（同+12.0%）、経常利益227億円（同+14.3%）、中間純利益63億円（同△22.5%）となりました。主力である分譲・賃貸セグメントの増収増益などから、186億円増収、営業利益27億円増益、経常利益28億円の増益と

なりました。一方、特別損失の計上により中間純利益は63億円となり、対前中間期18億円の減益となりました。

なお、平成19年度通期の連結の業績予想につきましては、売上高6,400億円、営業利益780億円、経常利益700億円、当期純利益315億円を見込んでおります。

分譲業

売上高は642億円（対前中間期+22.7%）、営業利益は54億円（同+54.3%）となりました。マンション「プランズたまブラーザ美しの森グラス」(神奈川県川崎市) など394億円、戸建「プランズガーデン多摩センター杜の丘」(東京都多摩市) など61億円、別荘「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢アネックス」(長野県北佐久郡) など35億円、その他152億円となっております。なお、下期に物件の引渡が集中することから当中間期の売上計上（引渡し）は、年間売上予想の35%の水準であります。契約は既に78%が締結済みであり、マンション販売は堅調に推移しております。

請負 工事業

売上高は297億円（対前中間期△1.4%）、13億円の営業損失となりましたが、リフォーム（東急アメニックス）において、定価制の全改装商品「TODAY暮らしアップ」を新たに展開したことによる初期費用負担等によるものです。受注額は322億円（同+3.5%）と前中間期を上回りました。

小売業

売上高は445億円（対前中間期+4.0%）、1億円の営業損失となりました。東急ハンズは既存店の減収が続いておりましたが、減少幅は大きく縮小しております。

また、「柏店」(千葉県柏市、平成19年8月)、「銀座店」(東京都中央区、平成19年9月)を新たに開業いたしました。

賃貸業

売上高は503億円（対前中間期+6.9%）、営業利益は183億円（同+16.7%）となりました。特別目的会社（SPC）を通じたビルの売却による配当増加、前期に開業した新規ビルの通期稼働、既存ビルの賃料改定の進捗などによるものです。東京のオフィスビルマーケットは好調な状況が継続しており、当中間期末のオフィス・商業ビルの空室率（単体）は1.2%と低水準で推移しております。

また、SPCを通じた新規投資や、不動産私募ファンドの組成も順調に推移しております。子会社において展開している住宅賃貸事業についても、管理代行などの物件開発が進捗しております。

管理 受託業

売上高は362億円（対前中間期+0.7%）、営業利益は23億円（同+19.1%）となりました。マンション管理受託戸数は新たに8千戸の新規受託があり、期末の件数は342千戸となりました。管理費受注単価の価格競争は継続しておりますが、費用削減も進捗し、増収増益を確保しております。

リゾート業

売上高は243億円（対前中間期+6.9%）、若干の営業損失となりました。会員制リゾートホテル事業の「東急ハーヴェストクラブ那須」(栃木県那須郡)の通期稼働やゴルフ場の新規施設の寄与に加え、既存施設も好調に推移いたしました。

一方、会員権販売の減少、スキー場の修繕費用増加等から減益となりました。またゴルフ事業では「関西カントリークラブ」(京都府亀岡市)を新たに取得し、ハーヴェストクラブでは「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢アネックス」(長野県北佐久郡)を開業いたしました。

仲介 その他業

売上高は265億円（対前中間期+2.9%）、営業利益は33億円（同△2.8%）となりました。東急リバブルの売買仲介は、概ね堅調に推移いたしました。一方、販売受託につきましては、大型物件が減少したことなどから、減収となっております。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前期	科 目	当中間期	前期
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在		平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	302,045	310,026	流動負債	296,054	305,538
現金及び預金	27,754	42,297	支払手形及び買掛金	31,228	52,101
受取手形及び売掛金	10,889	13,777	短期借入金	116,205	114,178
有価証券	5,200	—	コマースパーバ	42,000	—
販売用土地	154,552	141,921	未払	13,339	21,028
販売用建物	37,613	43,308	未払法人税等	7,927	19,456
商 品	9,030	7,959	繰延税金負債	341	337
貯 蔵 品	844	1,143	前受	30,323	32,265
販売委託未収入金	5,321	1,683	受託販売預り金	5,488	17,615
短期貸付金	2,526	10,178	預り	15,472	15,621
繰延税金資産	21,412	22,356	不動産特定共同事業預り金	18,750	7,550
その他	27,190	25,744	賞与引当金	6,465	8,312
貸倒引当金	△290	△342	役員賞与引当金	122	218
固定資産	664,248	644,048	役員退任慰労金引当金	11	199
有形固定資産	381,633	366,611	完成工事補償引当金	325	346
建物及び構築物	129,071	127,405	土地買戻損失引当金	—	7,373
土地	238,788	227,880	事業再構築損失引当金	763	1,023
建設仮勘定	5,766	3,685	その他	7,288	7,911
その他	8,006	7,640	固定負債	472,075	452,253
無形固定資産	28,481	24,378	社 債	30,000	20,000
借地権	11,723	9,061	長期借入金	245,450	236,309
のれん	3,219	1,386	預り保証金・敷金	153,852	144,879
その他	13,539	13,929	繰延税金負債	4,414	2,676
投資その他の資産	254,133	253,058	再評価に係る繰延税金負債	11,589	11,647
投資有価証券	37,661	40,619	退職給付引当金	16,725	15,983
匿名組合出資金	140,789	138,791	債務保証損失引当金	1,232	1,232
長期貸付金	828	656	役員退任慰労金引当金	912	1,115
差入保証金・敷金	59,580	58,239	不動産特定共同事業預り金	4,550	14,950
繰延税金資産	7,947	7,431	その他	3,348	3,459
その他	11,928	11,909	負債合計	768,130	757,791
貸倒引当金	△4,602	△4,589	(純資産の部)		
資産合計	966,293	954,074	株主資本	155,883	153,359
			資本金	57,551	57,551
			資本剰余金	39,326	39,319
			利益剰余金	60,016	57,329
			自己株式	△1,011	△842
			評価・換算差額等	18,959	20,316
			その他有価証券評価差額金	3,375	4,741
			繰延ヘッジ損益	17	△48
			土地再評価差額金	16,552	16,636
			為替換算調整勘定	△985	△1,012
			少数株主持分	23,320	22,607
			純資産合計	198,163	196,282
			負債及び純資産合計	966,293	954,074

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
営業収益	268,321	249,751
営業原価	207,042	194,190
営業総利益	61,278	55,560
販売費及び一般管理費	35,608	32,631
営業利益	25,670	22,929
営業外収益	784	643
営業外費用	3,717	3,671
経常利益	22,737	19,901
特別利益	346	181
特別損失	6,344	2,121
税金等調整前中間純利益	16,738	17,960
法人税、住民税及び事業税	8,354	7,884
少数株主利益	2,061	1,915
中間純利益	6,322	8,159

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,024	△53,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,907	△40,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,903	20,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	13
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	80
現金及び現金同等物の増減額	△16,998	△74,154
現金及び現金同等物の期首残高	51,701	119,933
現金及び現金同等物の中間期末残高	34,702	45,859

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成19年3月31日残高	57,551	39,319	57,329	△842	153,359	4,741	△48	16,636	△1,012	20,316	22,607	196,282
中間連結会計期間中の変動額												
剰余金の配当			△3,720		△3,720					—		△3,720
中間純利益			6,322		6,322					—		6,322
自己株式の取得				△173	△173					—		△173
自己株式の処分		6		4	10					—		10
土地再評価差額金取崩額			84		84					—		84
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)					—	△1,366	65	△84	27	△1,357	713	△643
中間連結会計期間中の変動額合計	—	6	2,686	△169	2,524	△1,366	65	△84	27	△1,357	713	1,880
平成19年9月30日残高	57,551	39,326	60,016	△1,011	155,883	3,375	17	16,552	△985	18,959	23,320	198,163

セグメント別売上高・営業利益

(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位：百万円)

科目	分譲業	請負工事業	小売業	賃貸業	管理受託業	リゾート業	仲介その他業	消去又は全社	合計
売上高 (前中間期)	64,172 (52,285)	29,702 (30,134)	44,483 (42,761)	50,294 (47,055)	36,240 (35,990)	24,329 (22,749)	26,494 (25,755)	△7,396 (△6,981)	268,321 (249,751)
営業利益 (前中間期)	5,430 (3,519)	△1,250 (△605)	△146 (203)	18,342 (15,718)	2,262 (1,899)	△10 (853)	3,286 (3,379)	△2,244 (△2,039)	25,670 (22,929)

連結子会社数62社 持分法適用関連会社数3社

単体財務諸表

NON-CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間単体貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前期
	平成19年9月30日現在	平成19年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	222,930	203,662
固定資産	530,896	541,628
有形固定資産	263,923	268,318
無形固定資産	14,816	14,388
投資その他の資産	252,157	258,921
資産合計	753,827	745,290
(負債の部)		
流動負債	212,815	207,147
固定負債	383,993	383,163
負債合計	596,809	590,310
(純資産の部)		
株主資本	137,430	134,179
資本金	57,551	57,551
資本剰余金	39,326	39,319
利益剰余金	41,563	38,150
自己株式	△1,011	△842
評価・換算差額等	19,587	20,800
純資産合計	157,018	154,980
負債及び純資産合計	753,827	745,290

中間単体損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日
営業収益	103,910	87,014
営業原価	78,163	65,851
営業総利益	25,747	21,162
販売費及び一般管理費	6,190	5,447
営業利益	19,556	15,714
営業外収益	1,769	1,284
営業外費用	3,114	3,135
経常利益	18,211	13,864
特別利益	5	11
特別損失	6,325	1,796
税引前中間純利益	11,891	12,078
法人税、住民税及び事業税	4,841	4,718
中間純利益	7,049	7,360

中間単体株主資本等変動計算書

当中間期(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算差額等					純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成19年3月31日残高	57,551	33,740	5,579	39,319	5,831	32,318	38,150	△842	134,179	4,277	△61	16,584	20,800	154,980
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当				—		△3,720	△3,720		△3,720					—
固定資産圧縮積立金				—	△3	3	—		—					—
中間純利益				—		7,049	7,049		7,049					7,049
自己株式の取得				—		—	—	△173	△173					△173
自己株式の処分			6	6		—	—	4	10					10
土地再評価差額金取崩額			—	—		84	84		84					84
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)			—	—		—	—		—	△1,190	61	△84	△1,213	△1,213
中間会計期間中の変動額合計	—	—	6	6	△3	3,416	3,413	△169	3,251	△1,190	61	△84	△1,213	2,037
平成19年9月30日残高	57,551	33,740	5,585	39,326	5,828	35,735	41,563	△1,011	137,430	3,087	—	16,500	19,587	157,018

会社の概要

CORPORATE PROFILE

● 会社概要 (平成19年9月30日現在)

商号 東急不動産株式会社
 TOKYU LAND CORPORATION
 設立 昭和28年12月17日
 資本金 57,551,699,228円
 従業員数 568名
 ホームページアドレス <http://www.tokyu-land.co.jp>

● 主要事業所

本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-2
 関西支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場4-4-3
 札幌支店 〒060-0001 札幌市中央区北1条西4-2-2
 横浜支店 〒220-0011 横浜市西区高島2-19-12

● 役員 (平成19年10月1日現在)

代表取締役社長	植木 正 威	執行役員	鈴木 春 仁
社長執行役員	金 指 潔	執行役員	小野寺 泰
取締役副社長執行役員	中島 美 博	執行役員	山口 洋次郎
取締役専務執行役員	内山 本 満	執行役員	大瀧 岩 男
取締役常務執行役員	岡本 潮 潮	執行役員	三浦 宏 英
取締役常務執行役員	小倉 敏 敏	執行役員	雑賀 克 典
取締役執行役員	鎌野 哲 朗	執行役員	細田 正 浩
取締役執行役員	二見 英 二	常勤監査役	山口 浩 匠
取締役	越村 敏 昭	常勤監査役	黒崎 浩 一
取締役	土橋 隆 彦	監査役	志岐 浩 一
取締役	袖山 靖 雄	監査役	安達 功 功

● 主要なグループ会社



当社グループは、当社のほか、連結子会社62社、持分法適用関連会社3社などで構成されております。

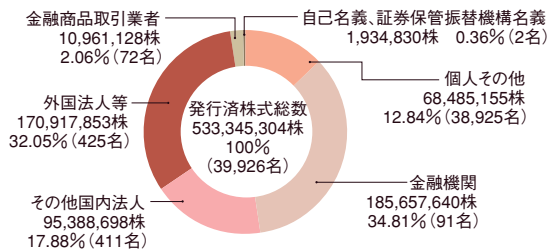
株式の状況 (平成19年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

● 株式の状況

発行可能株式総数 1,000,000,000 株
 発行済株式総数 533,345,304 株
 株主総数 39,926 名
 単元株式数 1,000 株

● 所有者別分布状況



● 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
東京急行電鉄株式会社	88,380	16.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	32,660	6.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,669	4.49
中央三井信託銀行株式会社	22,509	4.27
第一生命保険相互会社	20,383	3.87
日本生命保険相互会社	13,881	2.63
モルガン ホワイトフライヤーズ エキュイティ ディリヴェイティヴ	12,510	2.37
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	11,379	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	10,389	1.97
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505103	8,427	1.60

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.tokyu-land.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
(郵便物送付先) 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受付しております。

- ・ 電話によるご請求 | 0120-87-2031
- ・ インターネットによるご請求 | http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

単元未満株式の買取、買増請求のご案内

単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取り、買増しにつきましては、上記取次所にてお取り扱いいたしております。買取、買増請求手続きに関しましては、上記事務取扱場所までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

なお、株券保管振替制度をご利用されている場合の単元未満株式買取、買増請求は、上記取次所では直接お受けできませんので、ご預託先の証券会社等へお申し出ください。

【表紙の写真】

キャピタルマークタワー(左)
三木よかわカントリークラブ(中央上)
ブランドズガーデン川西丸山台(中央中)
東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢アネックス(中央下)
品川東急ビル(右)